令和４年
７月１日

ひめしおタイムス

姫路市汐入川才西川放水路幹線建設工事

発行
第８号

今日のスクープ

シールドマシンの解体も完了

～お祝いムードも束の間 すぐに次工程に移ります～

到達した翌日の６月９日から、早速シールドマシンの解体を開始しました。シールドマシンは基本的にはオーダーメイドで作られるので、この工事が終わると、再利用する部品を取り外して解体します。1.5km頑張ってきたマシンに「ありがとう！お疲れ様でした！」という気持ちを込めながらガスバーナーで切断していきます。

解体の完了したシールドマシンです。外側の鋼殻(通称どんがら)は地中に残置されます。これからはトンネルの一部となり、姫路市広畑区を浸水被害から守る役割を果たします。

到達立坑に出てきたシールドマシンの前でピースサイン
工事中の苦労が報われる瞬間です

今月のメイントピック

㊗ シールド No.3 立坑に到達！

～1.5km を７か月で掘進～

昨年 11 月に小坂公園の No.1 立坑を発進したシールドマシンは、6 月 8 日に No.3 立坑に到達しました。11 月に初期掘進を開始し、1 か月間の段取替えを経て 1 月から本掘進を行ってきました。順調に掘進し、大きなトラブルもなく、無事に到達することが出来ました。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

6 月 3 日に No.3 立坑の土留壁にぶつかるところまで掘削し、その後 2 日間をかけて壁を撤去しました。この作業を「鏡切(かがみきり)」と言います。鏡切は、これまで安定していた土留壁を取り除き、地山を開放する作業で、安全性の高いシールド工法の中で、最も緊張する作業です。土留壁背面の地盤改良の効果確認を行い、地山の状態や湧水量の監視を行いながら慎重に鏡切を行いました。その後、土砂や地下水を噴出させないようにするためのゴムパッキンを取り付け、いよいよシールドマシンを立坑内に押し出します。スピードは毎分 3cm。パッキンを傷つけないよう、立坑側とシールドマシンのオペレーターとで連絡を取合いながらゆっくりと押し出しました。

1.5km 掘進して、到達立坑での誤差は。上下左右ともに 1cm 以内と、非常に高い精度を確保することが出来ました。これぞ日本の土木技術です！

土砂を削り取ってきたカッタービット(刃)は、想定摩耗量 43 ㎜に対して 30 ㎜の摩耗で、余裕をもって掘削することがきました。

さて、これで推進を含めて４本のトンネルの掘削が全て完了しました。今後は、放水路幹線の供用開始に向けて、トンネル内部の仕上と、各立坑でのマンホールおよび水路から水を取り込む取水施設の構築を行っていきます。浸水被害の軽減を目指し、引続き安全を第一に、地域の皆様にご迷惑、ご不便をかけることのないよう作業を進めていきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

お知らせ

小坂公園の防音ハウスを解体します

No.1 発進立坑に昨年から設置していた防音ハウスは、シールド工事の夜間作業の完了に伴い、7 月末から解体作業に着手します。当初と同様の仮囲いを設置します。昼間の騒音発生を極力抑えるよう注意して作業を進めていきます。

-お問合せ先-

事業主体：姫路市上下水道局
TEL：079-221-2663

発注者：日本下水道事業団
TEL：078-752-2129

施工者：清水･森長･宇鷹 JV
TEL：079-230-0877